

第4学年1組 体育科学習指導案

平成21年10月27日(火) 第5校時 校庭
 在籍児童数 男子 18名 女子 15名
 指導者 菊池 健一

1. 単元名 ティーボール(ゲーム)

2. 運動の特性

(1) 一般的特性

- ・2つのチームが攻撃と守備を交互に行い、ボールを投げる、捕る、打つなどしながら得点を競い合う運動である。

(2) 児童からみた特性

- ・ボールを打ってヒットになったり、ボールをとって相手をアウトにしたり、チームが勝ったりすると楽しい運動である。
- ・ボールを打ちやすくしたり、アウトにしやすいなどのルールを工夫してゲームを行うと楽しい運動である。
- ・打つ、投げる、捕るという基礎技能を身につけていないとゲームを楽しめない運動である。

3. 児童の実態

本学級の児童は大変明るく、だれとでも仲良くすることができる。各教科の授業へも積極的に参加し、自分の考えを发表或し、友達の意見を聞いたりしている。体育科の授業では常に全力で活動し、運動を楽しむことができている。

しかしながら、児童へのアンケートから運動をすることが好きだという思いはあるものの、運動に対する自信が少ないことが分かった。そして自信のない運動に対して積極的に取り組めない児童もいる。また、ベースボール型のゲームを経験している児童が少ないため、ボールの扱いに慣れている児童が少ない。そこで、まずは運動の楽しさを全員の児童に味わわせ、運動を進んで行えるようにしていく必要があると考える。

(1) 新体力テストの結果から

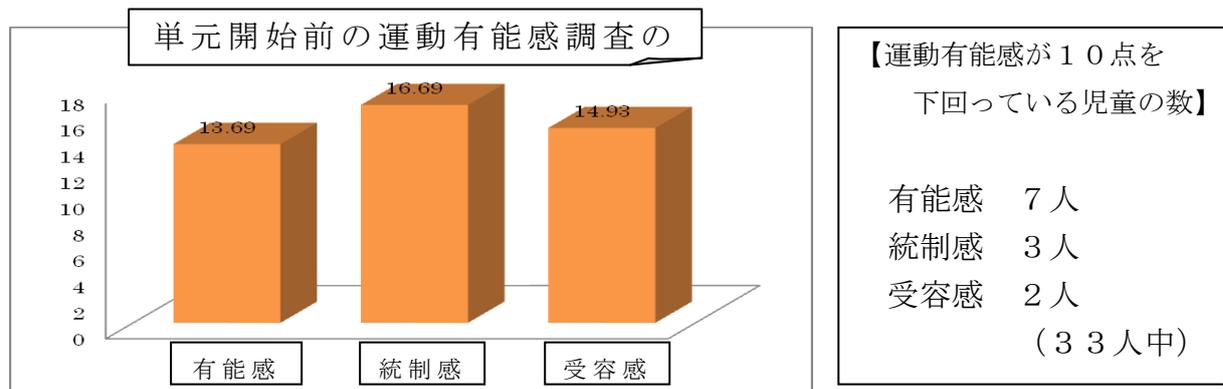
新体力テストの結果		握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横跳び	シャト ルラン	50m 走	立ち 幅跳び	ボール 投げ
男子	H21(学級)	○14.50	○18.79	○38.55	○42.44	●43.35	●10.43	●138.88	●15.66
	H20(市)	14.26	17.95	30.35	37.85	43.75	9.70	146.39	19.37
女子	H21(学級)	●13.30	●16.28	○35.48	○41.07	●31.90	●11.04	●130.30	●10.92
	H20(市)	13.60	16.73	34.48	35.88	32.47	10.02	136.94	11.09

(○は市の平均を上回った数値、●は下回った数値)

(2) 意識調査から

体育は好きですか？	男子	はい (16人)	どちらともいえない (2人)	いいえ (0人)
	女子	はい (12人)	どちらともいえない (1人)	いいえ (2人)
野球は好きですか？	男子	はい (8人)	どちらともいえない (8人)	いいえ (2人)
	女子	はい (2人)	どちらともいえない (6人)	いいえ (7人)
どんな授業になった ら楽しいか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールが怖くない。 ・ゲームのルールがわかりやすい。 ・ゲームの中でボールをたくさん打てる。 ・下手な人もゲームにきちんと参加できる。 ・授業の中でゲームがたくさんできる。 ・守りの時間が短い。 			
どんな授業になると つまらないか？	<ul style="list-style-type: none"> ・全然打てない。 ・男子や強い人ばかりが活躍する。 ・ボールが全然回ってこない。 ・ゲームが少ない ・打つ回数が少ない。 			

(3) 運動有能感調査から



(それぞれの項目ごとに20点を満点として学級33名の結果を平均化した。)

4. 教師の指導観 (授業づくりの視点)

生涯体育につながるための体育指導をする観点から、児童が運動に対して積極的に取り組むことができるように、児童の『運動有能感』を向上させる取り組みを行う。『運動有能感』とは、①「運動に対する身体的有能さの認知」つまり有能感と、②「練習すればできるようになる」という統制感、そして③「教師や仲間から受け入れられている」という受容感から成り立っているものである。そして、それらは児童が積極的に運動に取り組むようになるためには欠かせないものであると考える。これらの『運動有能感』を高める工夫を授業の中に取り入れていく。そして児童が意欲をもつ

て主体的に運動に取り組み、自分の成長を具体的に実感できるような授業をつくっていききたい。

単元開始前に行った児童の意識調査と運動有能感調査から、児童はこれまでの体育授業において「練習すればできるようになる」という統制感や「教師や友達から受け入れられている」という受容感を十分にもってきたとと言える。しかし、それに伴った運動への自信である有能感が今一つ伸びていない。したがって、本単元では有能感を高める指導に重点を置いて指導していききたい。児童はベースボールゲーム型のゲームになれておらず、ルールが分かりにくいことや、打ったり守ったりすることへの不安を感じている。また、ゲームがうまく進まずあまり打つことができないことも不安を感じている。この点を解消し、どの児童もゲームに十分に参加し、楽しさを味わいながら技能も伸ばしていけるような授業展開にしていききたいと考える。

運動有能感を伸ばすための具体的な方策については以下のとおりである。

(1) 有能感を高める工夫

①基礎技能練習のメニュー化

ボールを打つ・投げる・捕るという運動に慣れていない児童が多いため、毎回ぐんぐんタイム(慣れの運動)において、基礎技能の練習を行うようにした。実際にいろんな投げ方でボールを投げたり、打ったボールを捕ったりするような場面を作り、ゲームで生かせるようにしていく。

②ヒットの可能性が高くなる用具の導入

野球をして遊んだことの少ない児童にとっては打つことが難しいと考えられる。そこで、ボールを置いて打つ形式をとるティーボールの用具を使うことで、全員がボールを打てるようにする工夫を行う。

③一人ひとりが活躍する場の設定

児童アンケートより自分が運動の見本としてあまり選ばれないと評価している児童が多いことが分かった。運動に対する自信をつけ、積極的に運動をしていくようにさせるために、単元の中で全員の児童が何らかの形で全員の前で演示を行ったり、全員の前で認められるような場を設定する。

(2) 統制感を高める工夫

①少人数のチーム編成

児童が打ったり、捕ったりする回数を多くするために、1チームの人数を4～5人のチーム編成にする。

②打ちやすい用具、守りやすいルールの導入

打つ行為になれていない児童にとっては投げたボールを打つことは難しいので、ティーボール協会推奨の用具を採用し、打つことに抵抗をなくすようにする。また、打者の打ったボールを捕球し、その後でボールを各ベースの仲間に投げてアウトにすることは難しいと考えられるので、コート内にアウトゾーンを設け、そこにいるなかまに投げてアウトにするようにルールを工夫する。

③ゲーム形式の工夫

ベースボール型のゲームに慣れていない児童が多く、ゲームの行い方やルールをなかなか理

解できない児童も多くいると考えられるので、ねらい1ではティーボール協会が例示する「どか点ゲーム」を採用し、ゲームの基礎的な流れを理解させる。ねらい2ではねらい1での経験を生かして、正式な形のティーボールを行う。

(3) 受容感を高める工夫

①教師によるストロークの重点化

毎回の授業でぐんぐんタイム（慣れの運動）を中心に全員の児童に声をかけるようにする。その他学習カードや体育アンケートを活用し、特に有能感や受容感の低い子に重点的に個別指導をするようにする。そして、授業の中で必ずプラスの声かけをして自信をつけさせるようにする。

②ペア・グループ学習の導入

ペアによる基礎技能の練習や少人数のチームによる練習を導入することで児童にチーム意識を芽生えさせ、仲良く運動できるようにさせる。

③一人一役の役割分担

コートづくりや運動用具などの準備を全員の児童で分担するようにする。そうすることで児童一人ひとりに積極的に授業づくりに参加しているという意識をもたせることができる。と考える。

5. 単元の目標

- ルールやマナーを守り、仲間と協力しながら、進んでゲームや練習に取り組むことができる。(関心・意欲・態度)
- チームに合った作戦を考えチームの練習やゲームに生かすことができる(思考・判断)
- 打つ、投げる、捕るなどの基本的な動きを身に付け、ゲームを楽しむことができる。(技能)

6. 単元の評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と教え合ったり、励まし合いながら練習やゲームを行おうとする。 ・ルールやマナーを守り、勝敗を素直に認めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームにあった作戦を考え、チームの練習やゲームに生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・打つ、投げる、捕るなどの簡単な技能を身に付け、ゲームをすることができる。

7. 単元計画（8時間扱い）

(1) 学習過程

①単元の取り上げ方

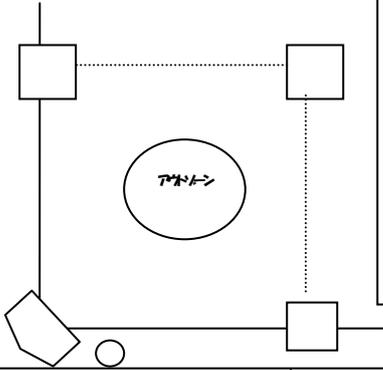
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
運動（時間数）	ドッジボール (8)	ボール投げ ゲーム (8)	シュートボール (8)	ティーボール (8)

②学習過程 (5/8)

1	2	3	4	⑤	6	7	8
オリエン テーショ ン ・学習の行 い方 ・基礎技能 につい て ・試しのゲ ーム	【ねらい①】 ゲームのやり方やルールを覚え、 ゲームを楽しもう。(リーグ戦)			【ねらい②】 チームの作戦を工夫して、ゲーム を楽しもう。(対抗戦)			4年1組 WBC ・トーナ メント 戦を行 う。
	①準備運動			①準備運動			
	②ぐんぐんタイム (慣れの運動)			②ぐんぐんタイム (慣れの運動)			
	③ゲーム1 (4分×1回)			③ゲーム1 (5分×1回)			
	④話し合い			④作戦タイム			
	⑤ゲーム2 (4分×1回)			⑤ゲーム2 (3分×1回)			
	⑥学習のまとめ			⑥振り返り			

(2) 学習と指導・評価

段階	学習のねらい・活動	指導・評価 (指導○ 評価◆)	評価方法
	学習のねらいと進め方を知り、単元の見通しをもつ		
はじめ 45分 × 1	1 集合、挨拶、健康観察をする。 2 学習のねらいと進め方、学習 のルールを知る。 3 準備運動をする。 4 場や用具の準備をする。 5 基礎技能テストをする。 6 試しのゲームをする。 7 用具の片付け、整理運動をす る。 8 本時のまとめをする。	○素早く集合、整列ができるようにす る。 ○掲示物を活用し、学習の流れが分か るようにする。 ○音楽をかけて、教師も示範をしなが ら正しく行えるようにする。 ○安全に行えるように声をかけるよ うにする。 ○ルールを守って行っている児童を 称賛するようにする。 ◆ルールを守って、運動しようとして いる。 【関】	行動観察 学習カード
なか ①	ねらい1 ゲームのやり方やルールを覚え、ゲームを楽しもう。(リーグ戦)		
	1 集合、挨拶、健康観察をする。 2 学習のねらいと進め方、学習 のルールを知る。	○素早く集合、整列ができるようにす る。 ○掲示物を活用し、学習の流れが分か るようにする。	

<p>45分×3</p>	<p>3 準備運動をする。</p> <p>4 ぐんぐんタイム(慣れの運動)を行う。</p> <p>5 ゲーム1を行う。 (4分1回ずつ)</p> <p>6 ゲームについての話し合いを行う。</p> <p>7 ゲーム2を行う。 (4分1回ずつ)</p> <p>8 整理運動をする。</p> <p>9 本時のまとめをする。</p>	<p>○音楽をかけて、教師も示範をしながら正しく行えるようにする。</p> <p>○安全に行えるように声をかけるようにする。</p> <p>○苦手な児童に積極的に声をかけるようにする。</p> <p>○ルールを守って行っている児童を称賛するようにする。</p> <p>○全体で上手なプレーをしている友達を紹介し合う。</p> <p>◆ルールを守って、勝敗を素直に認めることができる。 【関】</p> <p>◆ボールを打ったり、投げたり、捕ったりしてゲームを楽しむことができる。 【技】</p> <p>○運動した箇所をよくストレッチするようにする。</p>	<p>行動観察 学習カード</p>
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>【コート図と基本のルール】</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・打者は思い切ってボールを打つ。 ・打球を捕った守備者がアウトゾーンの仲間にボールを投げてアウトにする。アウトになるまで打者はベースを回る。1塁(1点) 2塁(2点) 3塁(3点) ホームイン(4点) ・3分間で攻守交代する。 (ゲーム1で2回・ゲーム2で1回) </div> </div>			
<p>なか ② 45分×3</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">ねらい2 チームの作戦を工夫して、ゲームを楽しもう。(対抗戦)</p> <p>1 集合、挨拶、健康観察をする。</p> <p>2 学習のねらいと進め方、学習のルールを知る。</p> <p>3 準備運動をする。</p>	<p>○素早く集合、整列ができるようにする。</p> <p>○掲示物を活用し、学習の流れが分かるようにする。</p> <p>○音楽をかけて、教師も示範をしながら正しく行えるようにする。</p> <p>○安全に行えるように声をかけるよ</p>	

	<p>4 ぐんぐんタイム(慣れの運動)を行う。</p> <p>5 ゲーム1を行う。 (5分1回ずつ)</p> <p>6 作戦タイムを行う。</p> <p>7 ゲーム2を行う。 (3分1回ずつ)</p> <p>8 整理運動をする。</p> <p>9 学習のまとめをする。</p>	<p>うにする。</p> <p>○苦手な児童に積極的に声をかけるようにする。</p> <p>○ルールを守って行っている児童を称賛するようにする。</p> <p>○チームごとに協力してゲームに取り組めるように声をかける。</p> <p>◆ルールを守って、勝敗を素直に認めることができる。 【関】</p> <p>◆チームの作戦を工夫してゲームをすることができる。 【思】</p> <p>◆ボールを打ったり、投げたり、捕ったりしてゲームを楽しむことができる。 【技】</p> <p>○作戦ボードや作戦カードをもとに話し合いを行わせる。</p> <p>○運動した箇所をよくストレッチするようにする。</p> <p>○学習カードに授業の反省や次の授業のめあてを書かせる。</p> <p>○よいプレーをしていた友達のことを紹介し合うようにさせる。</p>	<p>行動観察 学習カード</p>
<p>ま と め 4 5 分 × 1</p>	<p style="text-align: center;">4年1組WBCをしよう。(トーナメント戦)</p> <p>1 集合、挨拶、健康観察をする。</p> <p>2 学習のねらいと進め方、学習のルールを知る。</p> <p>3 準備運動をする。</p> <p>4 ぐんぐんタイム(慣れの運動)を行う。</p> <p>5 ゲームを行う。</p>	<p>○素早く集合、整列ができるようにする。</p> <p>○掲示物を活用し、学習の流れが分かるようにする。</p> <p>○音楽をかけて、教師も示範をしながら正しく行えるようにする。</p> <p>○安全に行えるように声をかけるようにする。</p> <p>○苦手な児童に積極的に声をかけるようにする。</p> <p>○ルールを守って行っている児童を</p>	

	(トーナメント戦)	<p>称賛するようにする。</p> <p>○チームごとに協力してゲームに取り組めるように声をかける。</p> <p>◆ルールを守って、勝敗を素直に認めることができる。 【関】</p> <p>◆作戦を生かしてゲームをすることができる。 【思】</p> <p>◆ボールを打ったり、投げたり、捕ったりしてゲームを楽しむことができる。 【技】</p>	<p>行動観察 学習カード</p>
	7 整理運動をする。	○運動で使った箇所をストレッチするようにする。	
	8 本時のまとめをする。	○単元を通した感想などを発表させる。	

8. 本時の学習と指導 (5 / 8 時)

(1) ねらい

- ・チームで協力しながら、進んで練習やゲームに取り組むことができる。 [関心・意欲・態度]
- ・チームに合った作戦を工夫して考えることができる。 [思考・判断]
- ・ボールを打つ、投げる、捕るなどしてゲームをすることができる。 [技能]

(2) 準備

- ・掲示資料 ・ラジカセ ・ティールボールセット ・カラーコーン・ビブス ・学習カード
- ・チーム作戦カード

(3) 展開

段階	学習内容・活動	○指導上の留意点 ◆評価
導	1 集合、挨拶、健康観察をする。	○素早く集合、整列ができるようにする。
	2 学習のねらいと学習のルールを確認する。	○掲示物を活用し、学習の流れが分かるようにする。
入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> チームの作戦を工夫して、ゲームを楽しもう。 </div>	
	3 準備運動をする。	○音楽をかけて、教師も示範をしながら正しく行えるようにする。 ○安全に行えるように声をかけるようにする。
	4 ぐんぐんタイム (慣れの運動) を	○苦手な児童に積極的に声をかけるようにする。

9. 学習資料

テーボール

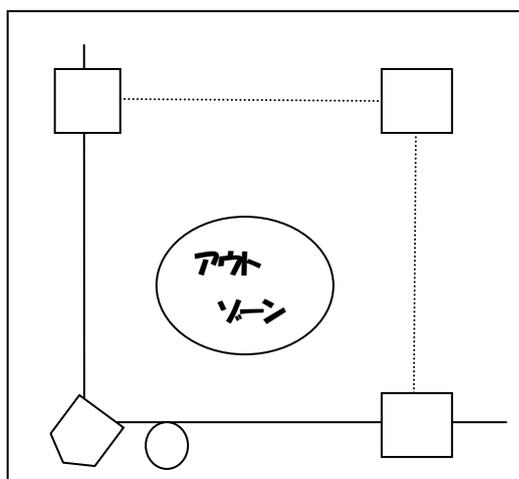
4年（ ）組 名前（ ）

めあて：仲良くルールを守って安全に運動する。
チームの作戦を工夫してゲームを楽しむ。
打つ・投げる・とる力をのばしてゲームを楽しむ。

学習の進め方：

1	2	3	4	5	6	7	8
オリエン テーショ ン ・学習の 行い方 ・基礎技 能につ いて ・ためし のゲー ム	【ねらい①】 ゲームのやり方やルールを覚え、 ゲームを楽しもう。(リーグ戦)			【ねらい②】 チームの作戦を工夫して、ゲーム を楽しもう。(対こう戦)			4年1組 WBC I組ナンバー 1チームを決 めよう！
	①準備運動 ②ぐんぐんタイム(慣れの運動) ③ゲーム1(4分1回) ④話し合い ⑤ゲーム2(4分1回) ⑥振り返り			①準備運動 ②ぐんぐんタイム(慣れの運動) ③ゲーム1(5分1回) ④作戦タイム ⑤ゲーム2(3分1回) ⑥振り返り			

コート 



授業の目標

【どか点ゲーム】

- ・打つ人は思い切ってボールを打つ。
- ・打球をとった人がアウトゾーンのなかまにボールを投げてアウトコールをする。(アウトゾーンに自分で行ってもよい。)
- ・アウトになるまで打者はベースを回る。1 るい(1点) 2 るい(2点) 3 るい(3点) ホームイン(4点)と得点が入る。
- ・時間でせめと守りを交代する。
- ・スライディングなどのあぶないプレーはきん止
- ・アウトコールとベースをふむのが同じだったときや見分けがつかなかったときにはキャプテンがじゃんけんをして決める。(なかよく!)

2	めあて	【めあて】	【今日の記録】 (キャッチボール) (かっとばしゲーム) 回 点
	反省		【対戦けっか】() チーム () 対 ()
3	めあて	【めあて】	【今日の記録】 (キャッチボール) (かっとばしゲーム) 回 点
	反省		【対戦けっか】() チーム () 対 ()
4	めあて	【めあて】	【今日の記録】 (キャッチボール) (かっとばしゲーム) 回 点
	反省		【対戦けっか】() チーム () 対 ()
5	めあて	【めあて】	【今日の記録】 (キャッチボール) (かっとばしゲーム) 回 点
	反省		【対戦けっか】() チーム () 対 ()
6	めあて	【めあて】	【今日の記録】 (キャッチボール) (かっとばしゲーム) 回 点
	反省		【対戦けっか】() チーム () 対 ()

7	めあて	【めあて】	【今日の記録】 (キャッチボール) (カッとばしゲーム) 回 点
	反省		【対戦けっか】() チーム () 対 ()
2	めあて	【めあて】	【今日の記録】 (キャッチボール) (カッとばしゲーム) 回 点
	反省		【対戦けっか】() チーム () 対 ()

【授業を終えて・・・】

先生から

役割分担表

①学習カードかご

() () () ()

() () () ()

②けいじばん

A () B () C () D ()

③ボールかご

() () () ()

④得点関係

得点板 AB () CD ()

つくえ B () C () D ()

⑤ベースおき

Aコート () Bコート ()

Cコート () Dコート ()

⑥コートづくり

フラフープ AB () CD ()

ティー

A () B () C () D ()

バット4コート分 ()

⑦体育小屋かぎ ()